

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2005年6月28日及び7月5日

2005年6月26日及び7月3日現在：

6月26日に終わる週から7月3日迄の2週間同州では殆ど降雨が無かった。7月3日に終わる1週間の週平均農作業稼働日数は6.5日（前週：6.3日）であった。気象が Hot & Dry となり土壌水分は前週より多少減少した。乾燥・高温の為冬小麦は急速に登熟をした。

6月26日現在で冬小麦の85%が登熟期（turning color）と成った。昨年同期では90%、5年平均では82%が登熟期以降であった。6月中旬まで例年より降雨が多く、気温も低目であったことが完熟を遅らせた。6月26日現在全体の1%の冬小麦が収穫された。7月3日に終わる週に収穫は急速に進み、全体の21%にて完了した（昨年同期：15%、5年平均：26%）。収穫初期の冬小麦の容積重は期待より低い数値と報告された。

2005年7月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では、単位収量は6月1日予想より5 bushels 減少し、27.0 bu/ac となった（2004年産実績：27.0bu/ac）。昨年実績と等しくなった。5月の天候不順が登熟を遅らせ6月中旬からの水分不足がマイナス要因と考えられる。詳細は別表の通り。

土壌水分：7月3日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	4	21	72	3
Subsoil (%)	14	32	52	2

生育状況：7月3日現在

	This Week	Last Year	5-Yr Ave.
Turning (%)	85	90	82
Ripe (%)	25	42	41
Harvested (%)	1	2	6
July 3, Harvested	21	15	26

作柄状況：7月3日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	4	17	35	34	10
Last week (%)	6	17	35	33	9

Source : Colorado Agricultural Statistics Service

7月1日付けUSDA生産量予想（冬小麦）

State	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
CO	1,700	2,400	27.0	32.0	27.0	45,900	64,800
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com